

# 榊原病院 Monthly

## Vol.33 2019.March

独立行政法人国立病院機構 榊原病院  
National Hospital Organization SAKAKIBARA Hospital

### 院長

村田 昌彦(むらた まさひこ)

1962年生まれ

1991年富山医科薬科大学医学部卒

1996年同医学部大学院卒

2014年国立病院機構北陸病院精神科部長

2015年国立病院機構榊原病院副院長を経て、2018年国立病院機構榊原病院院長就任。

日本司法精神医学会評議員。



### 病院理念 この病院で最も大切なひとは治療を受ける人である

《“チーム榊原” これからの躍進に期待！》

看護部長 西谷 博則



3月末日をもって40年余りお世話になった国立病院機構を定年退職する日を迎えます。お世話になった皆様に心から感謝申し上げます。今も尚、4年前に赴任した時の榊原病院の光景が昨日のここのように浮かびます。幼少の頃にタイムスリップしたかのような懐かしい里山の風景、満開の桜、あっという間に時間が流れていったというのが実感かもしれません。看護部長という重責に不安を感じつつも、この病院で看護を成し遂げる覚悟めいたものもあったかと思えます。医師不足や様々な要因から榊原病院の医療は低迷していた時期でしたが、当時の村上院長の指揮のもと国立病院機構をはじめ様々な機関の方々の協力も得ながら再建に向けた取り組みが始まった時期でもありました。病院職員の皆さんも苦境を乗り越えるためにただただ前を向いて歩いていこうという空気感も漂っていたかと思えます。

依存症、強度行動障害短期入所、児童思春期医療、認知症、措置、鑑定にかかる医療、ACTの展開、クロザピン専門病棟開棟等々、新たな専門医療の取り組みに目まぐるしく充実した時間が過ぎていきました。「医療を創り上げること」、このことこそが「地域で選ばれ必要とされる病院」となる。前院長が繰り返し言われていた言葉です。その通り、職員一丸となって榊原の精神科医療を求め、地域に貢献できるすばらしい病院になって来ていると思います。経営再建については、病棟改修計画が認められ、いよいよ集大成の時期に入ってきました。更には、地域医療への貢献、精神科地域包括医療の先端を行くべく訪問看護のステージアップが進行中です。「小規模・多機能・高規格」の方向性の下で、小さな病院ですが、専門性、質の高い医療の構築に懸命に取り組んでいます。医療を支え、地域の方々に、より満足を届けられる看護となるよう看護部門も邁進しているところです。

「この病院で最も大切な人は治療を受ける人である」という病院理念のもと、看護師一人一人が「人に寄り添い、こころをつなぎ、こころを高める看護」を実践しています。少しずつ、寄り添う看護が定着、浸透しつつあると感じています。私たちは病気で苦難を抱える人々と「ケア」を通して関わる専門家だと考えています。ケアは、一方的なものではなく双方向、ケアされる人、ケアする人の信頼・相互関係で成り立つものと思います。人や地域にケアとして寄り添える、そんな病院であってほしいと心から願っています。

これまで通り、職員の皆様が一つになり、“チーム榊原”として発展していかれることを切に祈っています。

### トピックス

行事・  
出来ごと

- 平成30年11月25日、第12回榊原温泉秋の収穫祭に参加しました
- 平成31年1月11日、鏡開きを行いました
- 平成31年1月27日、第4回市民公開講座を開催しました

教育・  
研修

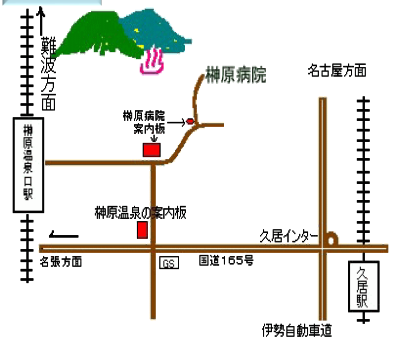
- 平成31年2月15日、三重県医療観察法ネットワーク研修会開催
- 平成31年2月28日 14:00～ 自閉症・発達障害研修会(於:三重県総合文化センター)
- 平成31年3月20日、三重県難治性精神疾患ネットワーク研修会・症例検討会(YOU-C-C)開催

### 診療科

- ・ 一般精神科
- ・ アルコール・薬物依存症  
専門外来
- ・ こころのリスク外来

### 病床数 176床

- ・ 精神科病棟 158床
- ・ 医療観察法 18床
- ・ 認知症ユニット



電車・バス / 近鉄久居駅下車、三交バス(榊原温泉口駅行)にて約30分。榊原口バス停下車徒歩約10分。

自動車 / 久居インター(伊勢自動車道)より西へ約20分

マイクロバス / 久居駅より直通バス(約25分)



(経ヶ峰山頂)4年間で50回以上登りました。鈴鹿連山にも毎週のように登山、癒されました。

榊原病院ホームページ  
QRコード



## 地域医療連携室だより

### 〈医療福祉相談のご案内〉

経済的な心配、福祉サービスの利用、退院後の生活など病気によって生じた生活上の困り事について、精神保健福祉士がご相談に応じます。相談をご希望の方は、主治医、看護師及び医事受付まで申し出てください。

### 訪問看護

当院の訪問看護は、退院後地域で安定した生活が送れることを目標といたしております。退院後の課題といたしましては、大切な薬を中断してしまうこと・生活リズムを守れず昼夜が逆転してしまうことやお金の管理が上手くできずに使いすぎて生活に困る等の病状がみられます。

これらの症状の悪化に伴い再入院する方が多くなっておりまます。患者様と家族の困ったことについて、地域の方々の支援を受けながら一緒に考え、安定した生活ができることを目標としております。

### 治療抵抗性精神疾患への医療

#### 〈クロザピンの治療状況〉

治療抵抗性統合失調症に対して、平成26年10月に1例目の投与を開始し、平成30年12月までに全症例は71例となりました。新規導入は11月1例、12月1例でした。順次投与を開始する予定です。クロザピン通院専門外来も開設しております。



### 認知症医療・アルコール・薬物依存医療・こころのリスク外来

#### 〈認知症医療〉

認知症の患者様は高齢であることから、様々な合併症をお持ちの方が多くおられます。また、アルコール問題の後に、認知機能が低下した方、さらに身体疾患に併発した認知機能の障害のある方は、若年の方にも見られます。したがって、現在は80歳以上の超高齢の方と50～60代の若年の方にも見られます。身体的な問題については、三重中央医療センターと連携を図りながら、幻覚や妄想、不穏など認知症の周辺症状（BPSD）に対応しています。

一般病院や介護施設において、BPSDの問題でお困りの場合はご相談ください。

#### 〈アルコール・薬物依存医療〉

適正な飲酒量とはどの程度かご存知でしょうか？「節度ある適度な飲酒」とは、純アルコールで1日約20グラム程度、つまり日本酒なら1日1合、ビールなら大瓶1本だけなのです。日本酒3合では健康に悪影響の出る「多量飲酒」（健康日本21）と言われております。もし減らすことが難しいという方がおられましたら、外来・入院での治療プログラムにてご協力させていただきます。

お一人で、ご家族だけで悩み解決しようとするのではなく、まず専門スタッフへお気軽にご相談下さい。ご自分だけで抱えずに相談することが、病気を回復する第1歩です。

#### 〈こころのリスク外来〉

思春期・青年期はこころのリスク状態が高まり、さまざまなこころの病気を発症しやすいと言われております。当外来はこころのリスク状態を早期に発見・治療していくための専門外来ですので、お気軽にご相談ください。



### デイ・ケア案内

デイケアは毎週、木曜日を除く週4日、北病棟3階作業療法室奥で実施しています。実施時間は9時30分から15時30分です。榊原地区の自然を楽しむ町内散歩や、スポーツ、音楽、アートなど様々な楽しみごとを行います。昼食づくりやお菓子作り、喫茶の会など、実用的な体験もできます。参加者で協力しあって、コミュニケーションの練習も、がんばっています。

参加希望の方は主治医またはデイケア担当者にご連絡下さい。デイケアのパンフレットを外来待合室に置いてあります。また、病院ホームページに月間プログラムもあります。お気軽にお問い合わせ下さい。

料理教室でナン作りをしました♪



ナンの中にはとろけるチーズを練り込みカレーとおいしくいただきました。生地から少しチーズが出て来てしまいました。香ばしく仕上がりました。

### 栄養コラム



#### 《 80歳以上5人に1人は低栄養？ 》

「寄る年波には勝てぬ」ということわざがありますが、栄養状態にも当てはまるようです。平成29年度の国民栄養調査結果において80歳以上の方の低栄養傾向の者（BMI $\leq$ 20kg/m<sup>2</sup>）の割合が男性17.3%、女性20.8%と報告されています。食生活に注意して粗食にされる方も見えるかと思いますが、やせすぎにも注意が必要となります。ただし、同時に80歳以上の肥満者も低栄養の方より多い割合で見えます。まずはご自身の体型が適正な体重にあるか振り返ってみましょう！

## ～第4回市民公開講座を開催しました～

平成31年1月27日に榊原地区第2区自治会長様ご協力のもと、第2区集会所において第4回市民公開講座を実施しました。今回は『ふまねっと運動～みんなで楽しく健康づくり～』をテーマに参加者の方にふまねっと運動を体験していただきました。初めてのことで私たちスタッフも参加者の皆様楽しんでいただけた不安がりましたが、当日は66名もの方が積極的に参加して下さったこともあって、とても楽しい雰囲気となり、参加者の皆さまからも「楽しかった」と声をかけていただくなど、充実した市民公開講座となりました。次回も職員一同、皆様に喜ばれる市民公開講座を提供していきたいと思っております。

